

日本共産党杉並区議会議員

くすやま美紀(樟山みき)活動報告

2014, 8, 21 NO. 161

連絡先 荻窪5-15-19-704 電話・FAX 5932-6170

区議会控室 3312-2111(内)2319



2015年NPTに向けて 核兵器全面禁止の大波を 原水爆禁止世界大会・広島

草の根から広大な世論と運動を

8月4日から6日まで広島で行われた原水爆禁止世界大会に参加しました。

参加者のスピーチや報告は、8カ月後に迫ったNPT再検討会議を、核兵器廃絶を実現する決定的な転機とするために、核兵器全面禁止の大波をつくりだそうという決意がみなぎるすばらしいものでした。日本被団協の坪井直代表委員(89歳)は「核兵器廃絶、核兵器禁止条約が成り立つまでは、絶対に死にたくありません」と力強く表明。核保有国を提訴したマーシャル諸島の政府代表ら、多くの海外代表が発言しました。全国各地の行動では「100万の署名、150人のNPT代表派遣をやりきる」(大阪府)、「県内全27自治体で



閉会総会のフィナーレでは、参加者全員で「ウイ・シャル・オーバーカム」を合唱。

NPTとは

核兵器の不拡散(核兵器保有国の増加を防ぐこと)に関する条約のこと。1970年に発効。日本を含む190カ国が加盟。核兵器保有をアメリカ、ロシア、イギリス、フランス、中国だけに認めるとともに、核軍縮の努力義務も課している。それ以外の国には核兵器を持つことも禁じているが、インド、パキスタン、イスラエルはこの条約に加入せずに核兵器を持ち、北朝鮮は2003年に脱退を宣言した。5年に一度、再検討会議を開催している。

原爆写真展を開いた」(岡山県などが報告されました。

5日は17の分科会が開かれ、私は「ゆるやかな集団的自衛権まもろう憲法」に参加しました。神戸大学名誉教授の和田進氏が問題提起。兵庫県の参加者からは、自衛隊員の息子をもつ女性が反対署名を10枚、20枚と集めていることなど、集団的自衛権の「閣議決定」強行に反対する各地の取り組みが報告されました。

閉会総会では、藩基文国連事務総長のメッセージをアンゲラ・ケイン国連軍縮上級代表が代読。自らも「核兵器のない平和で公正な社会を達成するまで努力しよう」と発言しました。

お困りごと、ご相談は、上記連絡先まで、お気軽にお電話ください

戦争する国づくり許さない！ 連帯を力に

「核抑止力論」には 一片の道理も道義もない

核兵器廃絶は世界の趨勢となつてい
ます。2010年のNPT再検討会議では、
核保有国5カ国を含む全会一致で「核兵
器のない世界」を実現することを合意し
ています。にもかかわらず核兵器廃絶が
実現しないのは、核保有国やその同盟国
が「核抑止力」論で核戦力を正当化して
いるからです。とりわけ、日本は被爆国
として、また憲法9条を持つ国として、
核兵器のない平和な世界をめざす先頭に
立つべきなのに、日米軍事同盟のもとで
アメリカの「核の傘」に依存し、核兵器



原爆ドーム前。リニューアルした原爆資料館にも行きました。

6日は広島市主催の平和記念式典に参加。
大雨のなか、大勢の参加者とともに、原
爆が投下された8時15分、黙とうを捧げ
ました。



全面禁止に背を向けるばかりか、核使用
さえ容認するという姿勢です。「ふただ
び被爆者をつくらないで」という被爆者
の願いを踏みにじるもので、本当に許せ
ません。

大会では、「核抑止力」論をのりこえ
ることがますます重要であると強調され、
「非人道的な核兵器を保持し続けること
に一片の道理も道義もないことを徹底し
て明らかにしてこそ、核保有国の抵抗を
のりこえ、『核兵器のない世界』への展
望を切りひらくことができる」と呼びか
けられました。

平和への誓いあらたに

世界大会は、2001年以来13年ぶり
の参加でしたが、集団的自衛権行使容認
に反対し、憲法を守り生かす運動、原発
再稼働に反対する運動、米軍基地撤去を
求める運動など、安倍暴走政治に対する
国民的なたたかいと連帯した大会でした。

去年は被爆70年。核兵器廃絶の決定的
な転機にするとともに、戦争する国づく
り許さない広大な世論と運動を広げてい
くために、力を尽くす決意です。

最後になりましたが、大会参加のため
の募金にご協力いただいた方々に心から
お礼を申し上げます。



集団的自衛権行使容認に反対する署名行動